

2021年7月5日

**Dentsu Commerce Roomがコマース領域のホワイトペーパー第3弾
「各領域で普及が進むコマースマーケティング 国内企業の普及動向を探る」を発行**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：五十嵐 博）および国内電通グループの20社で構成する「Dentsu Commerce Room」※は、ホワイトペーパー第3弾となる「各領域で普及が進むコマースマーケティング 国内企業の普及動向を探る」を発行いたしました。

【ホワイトペーパーはこちらから】

<https://www.d-sol.jp/dentsucommercereport/download/210705>

デジタル基盤技術の実用化が進む中、幅広い業種の企業において、コマースマーケティングのノウハウが、実践され始めています。

Dentsu Commerce Roomは、その現状を把握し、より市場に適したソリューションを提供するため、国内企業約50社に対し実態把握のための調査を実施しました。

本ホワイトペーパーでは、その調査結果を通じて確認することができた「美容・化粧品」「医薬品」「食品・飲料」「家電・耐久財」「自動車」といった各業種におけるコマースマーケティングの普及動向や、業種特有の課題と今後の見通しなどについて考察を紹介しています。

Dentsu Commerce Roomでは、今後も消費者ニーズを捉え、購買行動をより豊かにしていくソリューションを提供していくとともに、定期的にホワイトペーパーを発行してまいります。

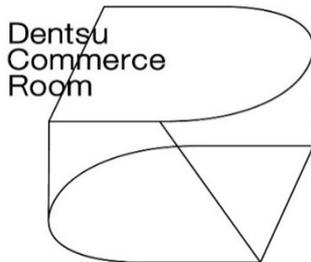
【ホワイトペーパー概要】

- ・コマースマーケティングの普及実態を解明するフレームワーク
- ・消費者発想により構成される4つの視点と12の指標
- ・業種別のコマースマーケティング普及動向
- ・業種特有の課題の読み解きと今後の見通し など



※ Dentsu Commerce Room

電通、電通デジタル、電通テック、電通ダイレクトマーケティング、電通リテールマーケティング、電通tempo、アイプロスペクト・ジャパン、電通アイソバー、セプテーニ、電通北海道、電通東日本、電通西日本、電通九州、アド電通大阪、barritz、電通ライブ、ザ・ゴール、電通マクロミルインサイト、VOYAGE GROUP、電通ジャパンネットワーク、サイバー・コミュニケーションズの21社が有するコマースソリューション情報を一元的に取り扱う国内グループ横断組織。各社が培ってきた専門的なソリューションを組み合わせ、ワンストップの「顧客体験」(CX)をプランニング、実施することでブランドの売り上げ向上を目指します。



電通グループが蓄積してきた知見と、
コマース領域における専門性が融合する場ができました。
どんな悩みも、この空間に入れてください。
一緒に新しい市場を開拓していきたいと思えます。

以上

【本インフォメーションに関する問い合わせ先】

株式会社電通 広報局 広報部
松島、田中
TEL : 03-6216-8041 Email : koho@dentsu.co.jp

【ホワイトペーパーに関する問い合わせ先】

株式会社電通 アクティベーションビジネスセンター
Dentsu Commerce Room
Email : dentsu.commerce@dentsu.co.jp